

天理大学おやさと研究所 2020年度公開教学講座

信仰に生きる 『逸話篇』に学ぶ(6)

本年度の公開教学講座はオンラインでの開催となりました。

第5回目の配信は2月1日~同月末です。

おやさと研究所のホームページより申込みのうえ、ご試聴いただけます。



第5回(2月):
八木三郎研究員
106「蔭膳」
第6回(3月):
堀内みどり主任
103「間違いの
ないように」

天理大学おやさと研究所 2020年度「教学と現代」

「新型コロナウイルス時代の天理教の教えと実践」

世界的な感染拡大となった新型コロナウイルス COVID-19は、私たちの暮らしを大きく変えました。マスク着用や「三密」の回避、また「新しい生活様式」の推奨など、これまでの生き方・暮らし方が根本から問い直されています。

さらに、信仰者にとっては、おごばや所属教会に参加できないもどかしさを感じています。私たちはこのコロナ禍の中であって、これまで当たり前だと思っていたことが、実は決してそうではなかったという気づきを得ました。

天理大学では2020年8月、ラグビー部寮での集団感染が起こり、またそれによって、心無い非難や差別も経験しました。しかし、この大きな節を“一手一つ”で乗り越えることができました。そこから見えてきた“一れつきょうだい”の教えについて、天理大学長でもある永尾教昭所長が、天理大学の事例を通じて基調講演をいたします。

続いて、佐藤孝則研究員が生物科学的な視座から、また澤井義次研究員が天理教学の立場から、それぞれ新型コロナウイルスの感染拡大をどう受け止め、コロナ禍の中でどう行動したら良いのかについて発題をいたします。

【日時】2021年3月28日(日曜日)

13時30分~15時00分

【開催方法】オンライン

【講師・演題】

基調講演：永尾教昭所長

「一れつきょうだいの教え—天理大学の事例をもとに—」

発題1：佐藤孝則研究員

「新型コロナウイルスの特性から考える」

発題2：澤井義次研究員

「『世界は鏡』のコスモロジーから考える」

今回の「教学と現代」は、オンライン形式で行います。
(おやさと研究所のホームページから事前登録をお願いいたします。)

グローバル天理

第22巻 第2号 (通巻254号)

2021年(令和3年)2月1日発行

発行者 永尾教昭

編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>

E-mail oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

印刷 天理時報社

© Oyasato Institute for the Study of Religion
Tenri University

Printed in Japan